

第44期
事業報告書

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

一般社団法人 環境創造研究センター
愛知県名古屋市東区東桜二丁目4番1号

第 44 期〔令和元年度〕事業報告

当センターは、昭和 51 年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望ましい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成 25 年に一般社団法人へと移行し、丸 7 年が経過しました。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成 15 年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成 20 年、25 年に再指定、さらに、平成 30 年 3 月に向こう 5 カ年の指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としての役割も担い、現在に至っております。

さらに、平成 30 年 4 月に環境省中部地方環境事務所より、「中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部) 運營業務」の請負団体として採択され、現在、中部管内の環境活動や ESD・SDG s に関わる活動に取り組む方々を支援する業務も鋭意実施中です。

令和元年度[第 44 期]においても、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めてきました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

これからも、公益目的事業、及び受託事業等の更なる実施に努めながら、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業1 (機関誌「環境」)の発行【定款第4条第1項の(5)】

項目	事業内容 (敬称略)
会員の状況	正会員数44名(個人:40名,法人:4名) 機関誌「環境」定期購読者9名 (令和2年4月1日現在)
機関誌等の発行	<p>『環境』150号 令和元年6月27日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録 ～改めて「空気の大切さ」を考える～ in 山形県朝日町 <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界『空気の日』の目指すもの (名古屋大学名誉教授 岩坂泰信) 2. フロン問題の成功体験に学ぶ (中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道) 3. 暮らしのなかのフロン対策 (名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則) 4. トークセッション <ul style="list-style-type: none"> <朝日町と『空気の日』について考える> パネリスト:鈴木浩幸(山形県朝日町 町長) パネリスト:Yoon Shin Kim(韓国建国大学校 教授) パネリスト:岩坂泰信(名古屋大学 名誉教授) パネリスト:福井弘道(中部大学中部高等学術研究所 所長) パネリスト:児玉剛則(名古屋産業大学大学院 非常勤講師) コーディネーター:原 理史(中部大学中部高等学術研究所) ・身近な自然を楽しむ 「アイナメ(鮎並、鮎魚女)(釣り人 工藤秀和) ・講演記録 ～環境分野におけるGISの活用について～ <ol style="list-style-type: none"> 1. あいちの生物多様性のモニタリングについて (愛知県環境局環境政策部自然環境課 道端亜貴美) 2. 環境GISの最新情報 (ESRI ジャパン株式会社 名和裕司) ・シリーズ:愛知県の環境ガバナンスをふりかえる(その3) 環境アセスメント～藤前干潟～ (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則) ・愛知県環境部重点施策 <ul style="list-style-type: none"> <令和元年度 愛知県環境部の主要事業> <p>『環境』151号 令和元年12月3日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録 鳥のくらしと生物多様性 (東京大学名誉教授/慶応義塾大学訪問教授 樋口広芳) ・講演記録 生物多様性と地球温暖化 (愛知県環境局自然環境課 主幹 來住南 輝) ・身近な自然を楽しむ 「カレイ(鯉)」(釣り人 工藤秀和) ・シリーズ プラスチックと環境問題 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則) <p>『環境』152号 令和2年3月31日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録

	<p>世代間協力で実現する SDG s (名古屋市立大学 副学長 伊藤恭彦)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 講演記録 ユネスコエコパーク×ESD ～人と自然が共生する持続可能な社会づくり～ (信州大学教育学部附属志賀自然教育施設 助教 水谷瑞希) • 講演記録 多様な協働による事業創造に向けて (早稲田大学教授/神奈川県立保健福祉大学教授 岡島未来子) • 身近な自然を楽しむ 「アイゴ釣りー毒針に刺されるな！」(釣り人 工藤秀和) • 講演記録 気候変動の影響にどう適応するか (環境省中部地方環境事務所 地域適応推進担当官 佐野悦子) • 寄稿 意識を一押し！普及啓発へのナッジの活用 ～中部 COOL CHOICE 普及啓発促進研究会の取組み～ (中部大学中部高等学術研究所/国際 ESD/SDG s センター 原理史) • シリーズ 市民との「協働」 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 次長 児玉剛則)
--	---

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項目	事業内容 (敬称略)
講演会・セミナー	<p><環境創造・環境共生講演会></p> <p>○開催：令和元年6月18日 会場：ウインクあいち (参加者 50名) 講師 東京大学名誉教授 慶応義塾大学訪問教授 樋口広芳氏 演題 「鳥のくらしと生物多様性の保全」</p> <p>○開催：令和2年1月14日 (名古屋)、1月23日 (豊橋) 共催：愛知県環境局地球温暖化対策課 会場：(名古屋) ウインクあいち (参加者 50名) (豊橋) 豊橋市民センター (参加者 22名)</p> <p><講演1> 講師 環境省中部地方環境事務所 環境対策課主査 西田清紀氏 演題 「今求められる環境理念 ～SDGsに貢献する地域循環共生圏づくり～」</p> <p><講演2> 講師 中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部) 原 理史氏 演題 「賢い選択こそ環境文化をはぐくむ ～COOL CHOICEをきっかけとしたSDGsひとづくり～」</p> <p><講演3> 講師 愛知県環境調査センター 研究監兼企画情報部長 福永泰生氏 演題 「愛知県気候変動適応センターにおける取り組み」</p> <p><グループ交流ディスカッション> 「COOL CHOICE促進を通じてSDGsに貢献するために ～自治体・推進員は何をすべきか、何ができるか～」</p> <p>○開催：令和2年3月17日 会場：ウインクあいち <講演> (新型コロナウイルス感染拡大のため急遽、中止) 講師 首都大学東京 都市環境科学研究科 客員教授 増田耕一氏 演題 「地球温暖化をこわがらなさすぎず、こわがりすぎないように」</p> <p><愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会></p> <p>○開催：令和元年7月1日 会場：ウインクあいち (参加者 50名) 主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター (一般社団法人 環境創造研究センター) 講師 愛知県環境局環境政策部自然環境課 主幹 來住南 輝氏 演題 「生物多様性と地球温暖化」</p> <p><その他講演会・セミナー (推進員セミナー関連) ></p> <p>○開催：令和元年10月11日 会場：ウインクあいち (参加者 45名) 話題提供1：「気候変動の影響にどう適応するか」 講師：環境省中部地方環境事務所 地域適応推進専門官 佐野悦子氏 話題提供2：「愛知県気候変動適応センターの取り組みについて」 講師：愛知県環境調査センター 研究監兼企画情報部長 福永泰生氏</p> <p>○開催：令和2年2月5日 会場：名古屋都市センター (参加者 50名) 話題提供：「いいね！が広がる温暖化防止活動」 講師：京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長 木原浩貴氏</p>

(3) その他事業 (受託事業・補助事業など)【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<受託事業>

受託先	件名	内容
環境省中部 地方環境事 務所	令和元年度 中部環境パート ナーシップオフィス (EPO 中 部) 運営業務	環境省「EPO 中部」の管理運営を行う業務であり、 主に以下の事業を実施。 ①EPO 中部事務所の管理運営等基本業務、②運営 会議の設置開催業務、③協働取組に関する業務、④ 中部 ESD 活動支援センター運営業務、⑤同時解決事 業支援業務、⑥EPO 中部における過年度実績整理業 務、⑦SDG s 環境教育支援業務
愛知県	令和元年度 地球温暖化防止 活動普及啓発事業 (*)	愛知県の地球温暖化対策を強化・推進し、県民運 動「あいち COOL CHOICE」を盛り上げることを目指 し、以下の普及啓発事業を実施。 ①地球温暖化防止活動推進員の支援、②地球温暖 化対策地域協議会の支援、③温暖化まなびネットの 運営
愛知県	令和元年度 環境学習コーデ ィネート業務等委託	愛知県内の環境学習の実施にあたり、講師や活動 場所等の提供を受けたい主体と、これら環境学習を 提供したい主体との円滑なマッチングを行い、各主 体が連携・協働した環境学習を円滑に実施するた め、環境学習の相談業務 15 件、コーディネート業 務 10 件を実施。【EPO 外部資金事業】
日進市	令和元年度 にっしん省エネ 倶楽部「COOL CHOICE 事業」 業務	環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減 促進事業」を活用した業務委託であり、日進市の「省 エネ倶楽部活動」として、低炭素地域づくりに向け て以下の事業を実施。 ①「未来への語り部」講座・WS の開催、②高校生 ESD ワークショップの開催、及び日進市子ども会大 会へのブース出展、③ウォームシェア普及啓発「鍋 フェア」の実施、④子ども省エネ教室の開催、⑤地 元販売店による省エネ推進キャンペーンの実施、⑥ 「エコライフ検診」の実施、⑦新規転入者への普及 啓発の実施、⑧市民まつりへのブース出展
中部電力(株) 名古屋支店	令和元年度 エネルギー関連 施設見学企画・運営業務	学生や一般市民に、エネルギー全般について共に 考える場を提供することを目的に、エネルギー関連 施設の見学会の企画・運営を 4 回実施。 具体的には、愛知県地球温暖化防止活動推進セン ター会員対象に「(株)JERA 西名古屋火力発電所&みな とアスクルエネルギーセンター」の見学会 (1 回)、 学生対象に「(株)JERA 川越火力発電所&新青山高原風 力発電所」の見学会 (1 回)、及び「瑞浪超深地層研 究所&核融合科学研究所」の見学会 (1 回)、推進員 対象に「瑞浪超深地層研究所&長良川水力発電所」 の見学会 (1 回) を実施。

受託先	件 名	内 容
東邦ガス(株)	ワークショップ運営業務	東邦ガス「ガスエネルギー館」の敷地に整備されたビオトープ広場を活用し、ビオトープワークショップを開催運営（1回） 但し、新型コロナウイルス感染拡大のため、開催直前で中止。
木曾岬メガソーラ(株)	令和元年度 木曾岬メガソーラ環境学習支援業務	木曾岬メガソーラー(株)が木曾岬干拓地に建設したメガソーラー発電所は敷地面積78ha（ナゴヤドーム約20個分）にパネル約20万枚を張り詰め、1年間で一般家庭14,500世帯分の電力を発電。 同発電所を円滑に運営・推進するためには、地域の理解・協力が必要不可欠であり、地元の愛知県弥富市及び三重県木曾岬町、桑名市長島町の小・中学校に対する環境学習の支援を実施。また、地元県民・自治体等に対する地域貢献に関する事業として、「産業振興」に資する事業、その他、地域活性化に資する「独自提案」の事業を実施。
独) 環境保全再生機構	「令和元年度 地球環境基金助成金説明会」の開催に係る業務	中部地域における「令和元年度地球環境基金助成金説明会」をウインクあいちで開催し、SDGsに関する講演を併せて実施。【EPO 外部資金事業】
東京海上日動(株)/日本NPOセンター	「令和元年度 グリーンギフト地球元気プログラム」運営支援業務	東京海上日動(株)がCSR事業として実施している「グリーンギフト地球元気プログラム事業」の運営支援を実施。中部地域では、愛知県、長野県、福井県の3事業のNPO等を支援。【EPO 外部資金事業】

<補助事業>

補助元	件名	内容
環境省／全国センター	令和元年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業（愛知県）（*）	<p>温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成し、低炭素社会の構築を目指す業務。</p> <p>具体的には、①「地球温暖化対策に関する啓発・広報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関する相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連絡調整会議の設置と開催運営」を実施。</p>
経済産業省／環境共生イニシアチブ	令和元年度 省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業	<p>西三河地域 5 市に省エネ相談地域プラットフォームを構築し、13 事業所の省エネ相談に対応。省エネ相談では、省エネ診断の実施や運用改善・設備更新など、省エネ活動の PDCA サイクルの実施に向け、取組みへの誘導・支援を実施。</p> <p>具体的には、相談窓口の設置・運営、広報活動、省エネ相談の実施、中小企業省エネ実践セミナーの開催（全 3 回）、社員研修等の実施、省エネ診断の案内や実施事例の紹介等を実施。</p>

<助成事業>

助成元	件名	内容
（独）環境保全再生機構	令和元年度 地球環境基金助成事業	<p>調査研究名～「COOL CHOICE」普及啓発に資する「ナッジ」の応用手法の研究と適用～として採択。</p> <p>3 か年計画の内、2 年目の令和元年度は、以下の事項を実施。</p> <p>①1 年目の分析評価に基づき、様々な種類の普及啓発における応用可能なナッジ手法を整理し、活用のための枠組みを構築したガイドライン案<暫定版>を作成。</p> <p>②「中部 COOL CHOICE 普及啓発促進研究会」の活動を推進。研究会の開催（全 3 回）</p> <p>③専門家 WG の組織化。WG の開催（全 5 回）</p> <p>④各地域センターにおいて実施を想定した事業に対し、ナッジ手法の応用を組み込んだ普及啓発について対象地域センターとの協働取組による調整の実施、及びナッジ活用普及啓発計画の策定。</p> <p>⑤ナッジ手法を応用した計画に基づき、各県地域センターの普及啓発事業においてアンケート調査による効果検証を実施。</p>

備考）（*）印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

Ⅱ. 総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	<p><総会></p> <p>第86回通常総会〔令和元年度前期〕 開催：令和元年6月18日 会場：ウインクあいち 議案：平成30年度事業報告案について 平成30年度決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他 出席者：会員46名のうち30名（うち委任状：20名）</p> <p>第87回通常総会〔令和元年度後期〕 開催：令和2年3月17日 会場：ウインクあいち 議案：令和2年度事業計画案について 令和2年度収支予算案について その他 出席者：会員46名のうち25名（うち委任状：16名）</p>
役員会の開催	<p><理事会（役員会）></p> <p>令和元年度前期理事会（出席者：5名/6名） 開催：令和元年5月21日 会場：ウインクあいち 議案：令和元年度（前期）通常総会の開催について 平成30年度事業報告案について 平成30決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他</p> <p>令和元年度後期理事会（出席者：5名/6名） 開催：令和2年2月27日 会場：ウインクあいち 議案：令和元年度（後期）通常総会の開催について 令和2年度事業計画案について 令和2年度収支予算案について その他</p>
企画委員会の開催	<p><企画委員会></p> <p>令和元年度第1回企画委員会（出席者：7名） 開催：令和元年10月24日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 （1）令和元年度の業務実施状況について （2）「EPO 中部運營業務」について （3）「愛知県地球温暖化防止活動推進センター業務」について</p> <p>令和元年度第2回企画委員会（出席者：6名） 開催：令和2年3月23日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 （1）現在の業務実施状況について （2）今後の運営方法について</p>

